ＯＢ会だより

第 52 号

〈発　行〉
京都外国語大学
能楽部OB会広報部

創部55周年記念 第五十二回 外大能開催!!

平素より、京都外国語大学能楽部ＯＢ会の運営にご理解とご協力を頂き心から御礼申し上げます。

今年、京都外大能楽部は創部五十五周年を迎えます。大きな節目である五十周年を迎えたのも束の間、早くも五年が過ぎました。言葉で言うのは簡単ですが、五十五年もの歳月は毎年の積み重ねがあってこそ成し遂げられる大業であることを改めて実感します。変わらぬご指導とご尽力を頂いている橋本礒道先生、橋本忠樹先生に心からの感謝を申し上げます。ありがとうございます。

来たる十二月六日（日）河村能舞台にて外大能が開催されます。今年の能楽は「海士」です。記念大会に相応しく、現役部員達の数々の舞囃子や仕舞に加えて、ＯＢ会からも仕舞参加の他、能や舞囃子の地謡参加 等々、多数の舞台出演があります。

年末の慌ただしい時期かと思いますが、現役達が一年間練習に励んで来た集大成の外大能に一人でも多くのＯＢ・ＯＧの方にお越し頂きます様お願いいたします。

今号も能楽を勤める現役達のコメントや練習風景の紹介をはじめ、新たに加わったＯＢ会メンバーの自己紹介等盛り沢山ですのでお楽しみください。

今号の注目記事

能楽「海士」を演じます！(3P)
私達が新ＯＧです！(4P)
今年の外大能番組紹介(8P)

創部55周年を迎えた今 これからも感謝と感動を持ち続けたい



ＯＢ会会長　島谷 直見

ＯＢ会員の皆様、平素は、能楽部ＯＢ会へのご理解とご協力を頂きましてありがとうございます。心より感謝申し上げます。

今年、我が外大能楽部は創部五十五周年の佳年を迎えました。創部より、様々な時代を乗り越えながら今日に至る事ができました。

これもひとえに、創部より、常に能楽部の一番近くに寄り添いながら、いつも熱心にご指導して下さる橋本礒道先生のお陰と心より感謝しています。と同時に卒業後も、お変わりなく外大能楽部ＯＢ会にご協力下さる、会員皆様のご支援の賜物であると有り難く思っています。

能は最終的にも到底到達不可能な古典芸能です。この透明で崇高な世界にほんの少しでも関わらせて頂ける幸せを、年を経るごとに深く感じています。

今年の「外大能」もＯＢ会共催として催されます。外大能楽部は、早くより、現役とＯＢの交流が盛んなクラブでした。これは、他のクラブから見てもとても自慢できる事柄です。現役とＯＢ会が心一つに作り上げるこの創部五十五周年記念「外大能」をさらに盛り上げる為にも、ＯＢ会員皆様のご来場を心よりお待ち申し上げています。

ＯＢ会の諸先輩方へ



部長　木俣　悠

今年、京都外国語大学能楽部は、創部五十五周年記念外大能を開催させて頂けることとなりました。歴史ある能楽部の記念すべき会に出演できることを、現役部員一同大変嬉しく思います。これもひとえに橋本礒道先生、忠樹先生をはじめとする先生方の御指導、またＯＢ会の皆様の御援助、御支援の賜物と、心より感謝致しております。

今年の外大能の番組は、「海士」の能楽一番、舞囃子四番、仕舞三番、そしてＯＢ、ＯＧの先輩方の仕舞十番となっております。大勢のＯＢ、ＯＧの先輩方に出演して頂けますことを大変嬉しく思い、心よりお礼申し上げます。

私共は、十二月六日の本番に向け、強化練習や夏合宿、部室でのお稽古等を通して日々練習に励んでおります。一人一人まだ課題はありますが、より良いものにし、本番では納得のゆく舞いが出来るよう努力しております。

御多忙中とは存じますが、より多くのＯＢ、ＯＧの先輩方の御来場を部員一同心よりお待ちしております。

【現役執行部の紹介】

部長　兼　外大能　実行委員長	木俣　悠
副部長　兼　外大能会計	谷口詩歩
渉内　兼　外大能実行委員	村上円香
渉外　兼　外大能実行委員	青山一真
一般会計　兼　連盟書記	髙橋明里

ＯＢ交歓会で現役生との交流

六月二十七日（土）、円山公園内「いふじ」にてＯＢ交歓会が開催されました。河原町「ミュンヘン」での二次会には卒業したばかりの新ＯＢも駆けつけ、楽しい時間となりました。

新たなメンバーが一人能楽部に仲間入りしてくれたものの、学生のクラブ離れは進んでいるのが現状です。現役・ＯＢの交流はもとより、さらなるメンバー拡大に向け共に策を講じる時間となりました。



集合写真「いふじ」にて

能楽部の長い歴史の中で、部員数が少ない時代もあったことと思います。それを乗り越えてきた五十五年、この困難な状況もまた、現役・ＯＢ一丸となって乗り越え、未来に向けさらなる飛躍につなげていきたいと思います。現役あっての能楽部です。ＯＢ会の皆様、ぜひ部員獲得のためのお知恵をお貸しください。



集合写真「ミュンヘン」にて

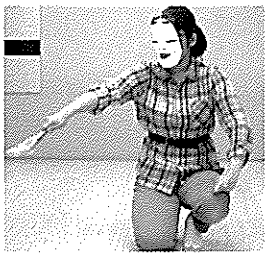
現役部員達の能楽に対する想い
～能楽 海士～

能楽「海士」への想い

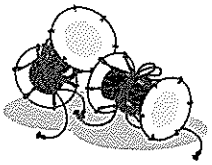
前シテ　片岡　綾音
後シテ　飯田加奈子
子　方　薬師寺美奈

記念すべき創部五十五周年の外大能で、私たちは「海士」を演能させて頂きます。前シテを片岡、後シテを飯田、子方を薬師寺が勤めさせて頂きます。以下、演能を控えた四回生の意気込みです。

以前から玉之段の仕舞が好きだったので、能楽海士の前シテを勤めさせて頂くこととなり本当に嬉しく思っています。実際に全体を通して演じてみると、海士という曲は、想像以上に感情に訴えるものがあると感じます。四年間の集大成として、精一杯の自分の気持ちを込めた海士になりたいと思います。（前シテ・片岡）







壮絶な出来事が語られる前場から一変して、後場は法華経が印象的な明るい雰囲気になります。前場の重かった空気から、装束の助けを借りつつも自分の出せる限りの表現力で後場に新たな空気を作ることができるよう頑張ります。現役最後の舞台で後シテを演じられること、また四回生全員で「海士」に出られること、とても嬉しく思います。四年間の集大成として今まで学んできた全てを注ぎ込みたいと思います。（後シテ・飯田）



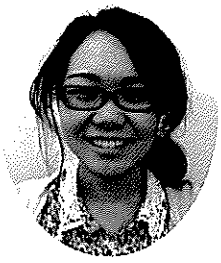
子方は前場、後場とも登場し、シテと向かい合いながら言葉を紡ぎます。動きが少ない分、謡を丁寧に、大きな声で謡い、精一杯房前大臣を演じたいと思います。現役として最後の舞台を三人で勤められることをとても嬉しく思っています。今後も練習を重ね、本番、自分の心にも、見てくださる誰かの心にも残る最高の舞台をつくれるよう、邁進してまいります。（子方・薬師寺）





イメージ：国立能楽堂提供:『能之図（下）』／「能　海人」より

新OB会員紹介



会員 No.155
木下　結

ご無沙汰しております。今年三月、外大をぎりぎりで危なっかしく卒業し、これまたぎりぎりで就職した職場で毎日あくせく働いております。

社会人になって半年以上経ってようやく少し余裕ができたような気がしています。ふと思い出すのは大学生活で、もっと深く言うと能楽部を思い出します。特に三回生、四回生の頃はいろいろと大変で、何回も五人で話し合っていたような気がします。外大の側のマックだったり村田の家に泊まりこみだったり…。本当にいろんな事がありつつもよく五人で、しかも誰も欠けることなく最後まで続けることができたなとしみじみ思いつつ、（言葉を選ばず言うと）まぁあれだけキャラの濃い面子が集まれば飽きることはないなと思いました。

同回生四人のキャラの濃さに、私は今でも圧倒され、敵いません。今はそれぞれがそれぞれの場所で頑張っていてなかなか会えず少し寂しいですが、全員集合とはいかずとも集まって食事に行ったりしているので、上司に怒られる毎日を乗り越えられています！

仕事の関係で休みが不定期でなかなか能楽部の行事に参加できず、とても残念です。気づいたら外大能まであと二ヶ月きっていて、もうそんな時期かと驚きました。

今年は外大能の参加は難しいですが、せっかく京都に残っているので、来年以降は時間を作って能楽部の行事に参加していきたいと思います！





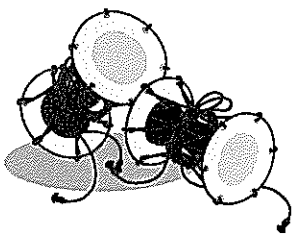
会員 No.156
小林恵利香

私、平成二十七年度英米語学科を卒業致しました小林恵利香と申します。

この度はＯＢ会だよりの原稿を書かせて頂くという大変貴重な機会を頂きまして、誠に有難うございます。現役の頃は、ＯＢの先輩方と言えばとても立派で遠い世界の方々の様な思いがございましたので、今自分がこの伝統あるＯＢ会の一員として原稿を書かせて頂いている事をとても感慨深く感じております。

今思い返してみると、外大能楽部で過ごした四年間は本当に色々な事がございましたが、とても楽しく、私の学生生活に必要不可欠な存在であったと思います。時には悩む事も、辛いと感じる事もございましたが、それよりも仲間とふざけ合い、時には語らい合い支え合って笑っていた時の方がはるかに多かったと思います。また、能楽の奥深さを知れば知るほど能の持つ独特の美しさや神聖さに魅了され、自分らしい舞を表現する事の楽しさ、そして素晴らしさを知る事ができた事は私の一生の宝であると思います。

外大能楽部は本当に素晴らしい部活であると卒業した今だからこそとても強く感じております。その様な部活に今度はＯＢという立場で関わっていける事をとても誇りに思い、今後微力ではございますが外大能楽部の益々の繁栄に貢献致したく思います。





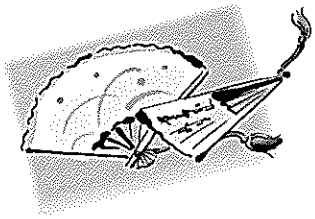
会員 No.157
橋口莉奈

卒業して半年以上が経ち、日々いっぱいいっぱいになりながら過ごしていると、ふと大学時代を思い出します。その中でも、やはり能楽部での思い出が頭をよぎるのです。日々の練習、お稽古、合宿、翡翠の会、そして外大能…。一生懸命練習をし、仲間達と励まし合い、先生や先輩方の指導を受け…能楽部だからこそ、あれだけ充実した毎日があったのだと思います。

特に、やはり外大能には一際思い入れがあります。四回生、最後の外大能で演じた『船弁慶』の前シテは、約一年が経った今でも鮮明に記憶に残っています。達成感も、悔いも、その時感じたこと全て、昨日のことのように思い出せます。あれからもう一年も経つなんて信じられません。

社会人となり、かつて共に切磋琢磨した仲間達とも離れ離れとなり、東京で就職した私は、先輩方や現役の後輩達とも離れてしまいました。しかし、それでも同期達と集まったり、先輩と飲みに行ったり、後輩が遊びに来たりと、何かと能楽部との関わりは続いています。現役として過ごした四年間は、これから続く何十年の、最初のステージなのだと、この頃そう思うようになりました。

きっと一生、能楽部との関わりは続いていくのでしょう。離れていても、月日が経ってもつながっている。そんな部に出会えたことを、嬉しく思います。





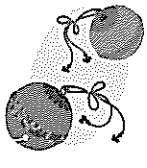
会員 No.158
村井理恵

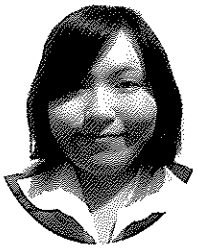
この春卒業しました、村井と申します。現役時代はお世話になり、有り難うございました。

卒業してはや半年余りが経ちました。月日の経つ早さには驚かされるばかりです。私は現在、社会の一員として慌ただしくも充実した日々を送っております。能楽部での四年間の出来事をいつも懐かしく思うと同時に、皆で切磋琢磨しはしゃいだ日々を思い起こし、少し寂しくも感じております。

卒業した今思い返すと、伝統芸能である能に携われた体験も現役時代とは異なって感じる部分があります。その一つが能楽部の魅力は何か?についてです。学生時代は貴重な体験をさせていただいていることに魅力を感じ、また誇らしくも感じていました。しかし今は、体験をさせていただくことの魅力もさることながら、同じ趣味を通じた年代の違った多くの先輩方との交わりや部員同士で練習をした時間こそが能楽部の魅力なのだと実感しています。現役時代に使った二本の扇は、擦り切れて手垢や破れでとても汚くなってはいますが、今では私の大切な宝物です。学生時代に自由な時間を能楽部の活動に当てられたことを、心からよかったと感じています。

末筆となりましたが、様々な角度から成長の機会を提供してくださった先生方、ＯＢ・ＯＧの先輩方に心より御礼申し上げます。今後は立場が変わりますが、現役を支えるＯＢ会の一員として能楽部の活動を続けていく所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。





会員 No.159
村田　瑞穂

ＯＢの皆様におかれましては、ますますご清祥のことと、お慶び申し上げます。

はやいもので、私が現役部員として外大能で能を舞わせて頂いてからもうすぐ一年が経とうとしております。現役時代は、日々が充実していたからか、あっという間に過ぎ去ってしまいました。しかし、思い出はたくさん残っており、仲間たちと明るく楽しく過ごしていた日々は、心の支えになっています。能楽部での経験は、楽しかったことばかりではありませんが、自分を成長させるものであったように思います。能を舞ったことはもちろん、仲間と稽古を積んだ日々や、先生や先輩方に教えて頂いたこと・かけていただいた言葉は、かけがえのない財産です。

今、わたしは小学生と関わる仕事をしています。今の子供たちは、学校や遊び以外にもやることがたくさんあります。忙しい日々の中で、なにかその中で、普段の生活とは離れた、古くからの日本の心を伝えていきたいと思いながら仕事をしています。子供たちには、私が部活の経験から学んだことを少しずつ伝えていけたら、と思っております。

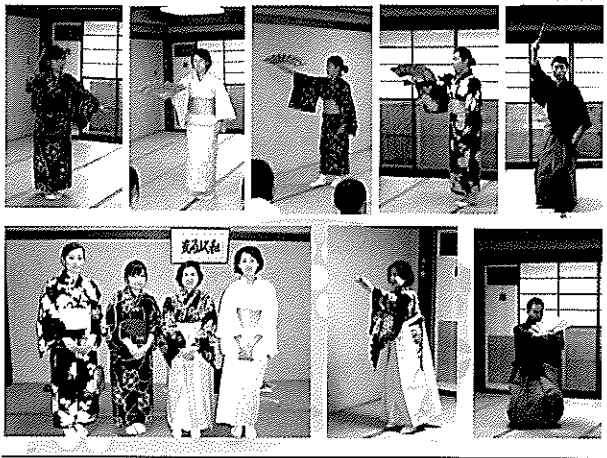
能楽部を通して、私は貴重な経験をたくさんさせていただきました。ＯＧとなった今、後輩たちにも同じように、能楽部でしかできないことをたくさん経験して欲しいと思います。そのために、微力ではありますがＯＧとしてできる限りのことをさせていただきたいと思います。

最後になりましたが、京都外国語大学能楽部能楽部とＯＢ会の益々の発展を祈念いたします。

第七回 花鏡の会「ゆかた会」開催！

八月八日（土）、懇親会開催前に「ホテル杉長」に於いて、花鏡の会「第七回ゆかた会」が開催されました。今年も昨年に続き、お仕舞に加え素謡も出されました。

橋本忠樹先生にご指導頂けるおかげで、仕事等忙しい日々の中でも少しでもお能に触れることができ、それが日々の活力にもつながります。まずは夏のゆかた会に気軽にお越し頂き、そしていつかは舞台に向けて一緒に練習を始めてみませんか。ご参加お待ちしております。



ＯＢ懇親会

八月八日（土）、富小路御池上る「ホテル杉長」に於いてＯＢ懇親会が開催されました。

各部署の報告、そして来年の総会へ向けてのお話の後、今年は京懐石に舌鼓を打ちながら、楽しい時間を過ごしました。





懇親会の一コマです。

WE LOVE NOH!

広報部副部長としても活躍している長野県在住の唐木啓子さん（二〇〇一年度卒）から届いた素敵なメッセージをご紹介します。

「青春のふるさと京都！」

唐木啓子（平成十三年度卒）

先日、家族と二泊三日で京都に出掛ける機会に恵まれました。どこへ行っても混雑が予想されましたので、社寺巡りはせず京都国立博物館の琳派展も諦めて、ちょっと違う時間の過ごし方をしようという事に。

電車好きの息子と主人が新幹線で新大阪へ出掛けている間、私は娘とふたりで卒業して以来初めて地下鉄と阪急電車を乗り継いで西院駅付近へ出掛けました。一時間に一本しか電車が来ない田舎に住んでいるので、次々とやって来る電車にも、乗り換えの便利さにも驚き！娘は自動改札機を面白がっていました。

西院駅を少し散歩してから、広報部の土井さんと会って今のクラブやＯＢ会の様子を直接聞く事が出来ました。その後、嵐電に乗車して待ち合わせの嵐山へ向かいました。蚕ノ社駅や有栖川駅！あんな事、こんな事…駅の名前を見るだけでも色々な出来事を思い出しました。

十数年ぶりに訪れた西院駅、そして嵐電の車窓から見える風景は懐かしい場所もありましたが、そのほとんどが新しく変わってしまってとても寂しく感じました。しかしながら、学生時代にしっかり打ち込んだクラブの経験と卒業後も続くＯＢ会の繋がりというのは、それに増して自分の中で強く残っているのだなと再認識する事が出来ました。

遠方に住んでいるため、なかなかクラブの行事に参加することもままなりません。ふとした時にこうして訪れる京都は、やはりクラブや学生生活を思い出させてくれ、また、普段はクラブとは離れた生活をしているけれどＯＢ会の一員として何かできないか、という気持ちにさせてくれました。今回のこの旅がＯＢ会だよりの原稿になるということで、少しでもお役に立てることを大変嬉しく思います。

秋の京都。紅葉や風神雷神図屏風は見られなかったけれど、とても良い時間を過ごす事が出来ました。

平成二十七年十二月六日（日）午後十二時半始メ　於 河村能舞台

創部五十五周年記念

第五十二回 外大能

番組紹介（簡略）

養老　連吟　部員一同　仕舞

田村（キリ）　村上 円香

吉野天人　今池 良

鞍馬天狗　高橋 明里　舞囃子　木俣 悠　青山 一真

高砂　仕舞　益田 ちさと（ＯＧ）

敦盛　仕舞　西村 文香（ＯＧ）

巻絹（キリ）　森 皓平（ＯＢ）　舞囃子　薬師寺 美奈　谷口 詩歩

天鼓　仕舞　塚田 智恵（ＯＧ）

殺生石　仕舞　福本 光咲（ＯＧ）

班女　仕舞　内田 麻也（ＯＧ）

松風　仕舞　屋島　土井 智代（ＯＧ）

安宅　仕舞　放下僧　小歌　木村 与宣（ＯＢ）

鉄輪　仕舞　舎利　井上 真一（ＯＢ）　岸本 充雄（ＯＢ）

山姥（キリ）　仕舞　藤戸　島谷 直見（ＯＧ）

菊慈童　連吟　ＯＢ・ＯＧ ★

高野物狂　番外仕舞　橋本 雅夫

雲林院（クセ）　橋本 磯道

國栖（キリ）　橋本 忠樹

海士　能楽　子方　薬師寺 美奈　片岡 綾音　飯田 加奈子　附祝言

★ 多数のご参加をお待ちしています。足袋をご持参ください。

能楽部関連ホームページのご案内

『京都外国語大学能楽部』➡ http://www.kufs.ac.jp/student/nogaku/index.html

能楽部の現役部員が管理しているサイトです。部員の紹介をはじめ、外大能のお知らせなど楽しいホームページです。是非一度ご覧ください。

『観世流能楽師 橋本忠樹先生のHP』➡ http://www.hashimoto-tadaki.jp

能楽部講師　橋本忠樹先生のホームページです。能楽の解説をはじめ能楽界に関する様々なお話が分かり易く解説されています。徒然日記、先生の海外出張のご紹介など、忠樹先生の素顔や普段の多方面に亘ってご活躍されている一面を知ることが出来る興味深いホームページです。

会計局から会費納入のお願い

◎一般会員　8千円
◎夫婦会員　1万2千円

前年度分まで未納の方は本年度分と併せてお振り込みくださいます様お願い申し上げます。

［振込先］
☆郵便口座
００２８０－１－５２０７６
☆加入者名
京都外国語大学能楽部ＯＢ会

編集後記

今号も広報部部員の結束のお陰でとても充実した内容になったと自負しています。部員みんなで仕事を分担して各自が原稿を依頼することに始まり、最終校正に至るまでいつも通り完璧なチームプレーでした。広報部の皆さん今年もありがとうございました。

そして何より、今回もお忙しい中、原稿依頼に快くご協力頂いた皆様にも心から感謝とお礼を申し上げます。

皆様のご意見やご希望の企画などあれば、執行部（広報部行）宛にお寄せください。よろしくお願い致します。

《ＯＢ会だより第52号》
◎編集責任者　藤原敏起
編集委員／唐木啓子・土井智代
鴨川愛子
◎発行責任者　島谷直見